

朝日新聞1985~
週刊朝日・AERA

朝日新聞縮刷版

知恵蔵

人物

歴史写真

検索一覧画面へ戻る

朝日新聞社 聞蔵IIビジュアル

総件数： 18件

No.	発行日	朝夕刊	面名	ページ	文字数
00006	1997年02月20日	朝刊	2 総	002	00934文字

未来志向に逆行 外務省内論議欠く 日韓外交文書非公開要請 <解説>

国交正常化をめぐる日韓交渉当時の外交文書を部分公開しようという韓国の意向に外務省が「待った」をかけたことは、日韓両国がめざす「未来志向の関係」と逆行する動きと受けとられかねない。過去を隠して未来を築けるという理屈は成り立たない。

外交文書公開には、どの国も例外が付き物だ。日本の場合、(1) 国の安全を損なう (2) 関係国との信頼関係を傷つける (3) 現在進行中の交渉に影響を与える——などの基準から、外務省が「国益」を損なう恐れがあると判断すれば、三十年を過ぎた案件でも非公開になる。当時の日韓交渉関連の記録については、朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）との交渉が中断されているとはいえ、交渉再開が重要課題になっている以上 (3) に該当するとして、いままもなく公開されていない。外務省は賠償請求問題などで、日朝交渉を日韓交渉の合意の枠内でまとめる方針だ。最初から北朝鮮に手のうちをさらけ出せば、交渉にマイナスと判断している。

だが、十五年に及ぶ日韓交渉のすべての文書が日朝交渉に影を落とすといえるだろうか。

たとえ、日韓間の最大の懸案だった賠償問題や領土問題などの公開は「国益」に反するとしても、韓国側が打診してきたような実務会談などの記録まで日朝交渉に影響を与えると断言できるのか。

外務省も昨年から日韓交渉関係の文書整理など公開へ向けた準備を本格的に始めたが、韓国側の部分公開がどのような影響をもたらすのか内部で具体的に議論した形跡もない。逆に、外務省内には、「日韓交渉と聞いただけで、公開を嫌悪する空気がある」（外務省筋）。さらに、「日本側は理屈ではない。感情的に反対している」（韓国外交筋）といった不満もくすぶっている。

韓国外務省は「情報公開法に基づいて実務的に処理するだけ」と説明する。大統領選に意欲を見せている野党自民連の金鍾泌総裁が当時の交渉に深くかかわったことを逆手にとり、金氏を牽制（けんせい）するカードに利用するのはという見方も出て

いる。

文書公開が政治に利用されることは極力避けねばならないが、日韓関係はともすれば、事実に基づかない感情論に流されがちだ。部分公開でも両国の基本文書が公になれば、少しでも客観的な冷静な議論を始めるきっかけとなるだろう。

▲前の記事 | ▼次の記事 | ▲最初の記事

[このページのTOPへ](#)

 [検索一覧画面へ戻る](#)

■聞蔵IIビジュアル・フォーライブラリー及びその収録記事・画像等は、日本の著作権法並びに国際条約により保護されています。著作権者の許諾を得ることなく著作物を利用できる著作権法上の例外的なケースを除き、収録記事・画像等を本サービスの利用規定に定める範囲を超えて無断で複製、公衆送信、翻訳、翻案、配布、販売等を行うことはできません。その他、朝日新聞社及び第三者の権利を侵害する一切の利用をお断りします。→「聞蔵 著作権について」はこちら

Copyright 2009 The Asahi Shimbun Company. All rights reserved. No reproduction or republication without written permission.